

互助会だより



「どろんこ祭り」(西予市)

2016年
(平成28年)

7月号

第114号

- ◆平成27年度決算概要 2~5
- ◆グループ保険・がん保険 6~7
- ◆がん保険のご案内 8
- ◆共済グループ保険募集のご案内 8

平成27年度決算概要

平成28年6月22日開催の第27回評議員会において、
平成27年度決算が承認されました。
各会計の決算概要は次のとおりです。



第27回 評議員会

会計の種類

法人会計	管理事業やその他法人全般に関する事項の会計
公益事業会計	公益目的事業の実施に関する会計
給付事業会計	現職会員の給付事業に関する会計
退職福祉事業会計	退職会員の退職者医療給付事業に関する会計
共済事業会計	現職会員の医療補助金の給付に関する会計
厚生事業会計	現職会員等の福利保険及び受託事業に関する会計

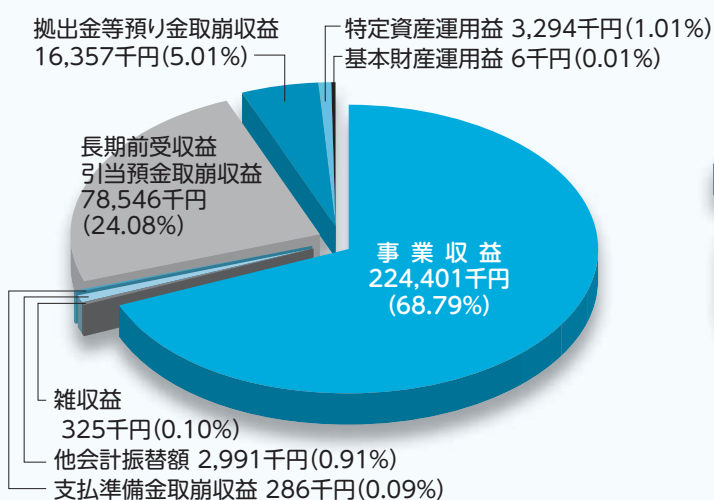
正味財産増減計算書総括表

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

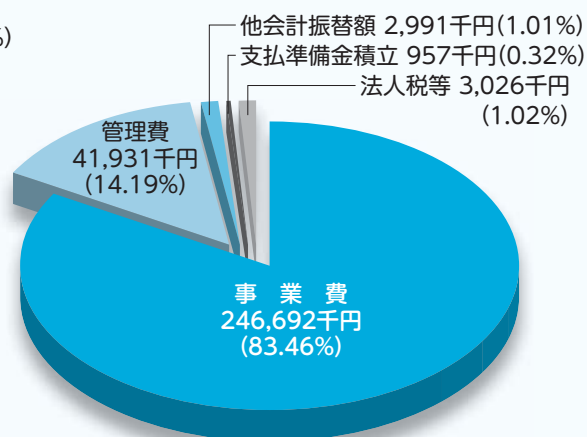
(単位：円)

科目	合計	法人会計	公益事業会計	給付事業会計等	厚生事業会計
I 経常収益の部					
基本財産運用益	5,622	5,622			
特定資産運用益	3,294,284			3,294,284	
事業収益	224,400,987			194,834,328	29,566,659
雑収益	325,426			219,315	106,111
他会計振替額	2,991,288		2,991,288		
支払準備金取崩収益	286,000			286,000	
長期前受収益引当預金取崩収益	78,546,216			78,546,216	
抛出金等預り金取崩収益	16,357,000			16,357,000	
経常収益合計(A)	326,206,823	5,622	2,991,288	293,537,143	29,672,770
正味財産期首残高	253,097,226	20,372,934		172,014,385	60,709,907
収益合計(B)	579,304,049	20,378,556	2,991,288	465,551,528	90,382,677
II 経常経費の部					
事業費	246,692,047		2,991,288	243,700,759	
管理費	41,930,835	5,311,048		19,268,993	17,350,794
他会計振替額	2,991,288				2,991,288
支払準備金積立	957,000			957,000	
法人税等	3,025,859	896		658,405	2,366,558
経常費用合計(C)	295,597,029	5,311,944	2,991,288	264,585,157	22,708,640
当期正味財産増減額(A-C)	30,609,794	△ 5,306,322	0	28,951,986	6,964,130
正味財産期末残高(B-C)	283,707,020	15,066,612	0	200,966,371	67,674,037

総括表(経常収益) 326,206千円



総括表(経常費用) 295,597千円



各事業会計の概要

互助会が一般財団法人に移行して3年度が経過しました。各会計の概要は次のとおりです。

法人会計

経常収益合計は基本財産運用益等の6千円で、経常費用合計は管理費等531万2千円で、当期正味財産は530万6千円の減となった結果、正味財産期末残高1506万7千円を計上しました。



平成27年度公益事業実施状況一覧表

(単位：円)

事業項目	実施内容	金額
公立養護施設に対する奉仕事業	「ふたば荘」外3か所へ物品寄贈	998,096
地域住民の自治意識の啓発に関する事業	大洲市外3か所へ物品寄贈	993,192
市町又は市町の職員が住民を対象として行う文化活動に対する助成に関する事業	四国中央市外3か所へ助成	1,000,000
合計		2,991,288

公益事業会計

公益事業費299万1千円は、厚生事業会計から同額を振替えた結果、当期正味財産増減額は0円となりました。

平成27年度給付金の給付状況一覧表

(単位：件、円)

項目 \ 年度	27年度					
	件数	金額				
現職会員	給付事業	入院差額料補助金	270	5,428,688		
		入院見舞金	247	4,940,000		
		災害見舞金	0	0		
		結婚祝金	245	6,900,000		
		出産祝金	534	10,680,000		
		入学祝金	1,391	34,775,000		
		銀婚祝金	126	1,890,000		
		職員研修事業助成金	32	2,905,000		
		永年会員祝金	786	9,420,000		
		死亡弔慰金	286	3,060,000		
		人間ドック等補助金	11,118	11,099,700		
		在宅看護見舞金	10	100,000		
		遺児奨学一時金	3	800,000		
		生涯生活設計セミナー	2	465,876		
介護休業給付金	18	817,255				
退会記念給付金	509	25,450,000				
計 (A)		15,577	118,731,519			
共済事業	医療補助金 (B)	医療補助金 (B)	5,784	49,187,900		
		退職会員	退職福祉事業	退職医療給付金	4,851	57,496,900
				退職医療返還一時金	364	16,357,000
				退職医療死亡弔慰金	15	802,140
				退職医療脱退一時金	16	1,125,300
事業費の計 (C)		5,246	75,781,340			
合計 (A) + (B) + (C)		26,607	243,700,759			

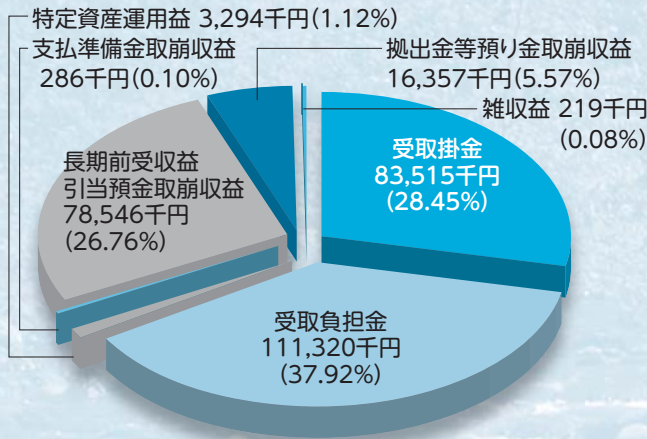
給付事業会計等

現職会員に対する「給付事業」及び「共済事業」と退職会員に対する「退職福祉事業」会計の給付状況等は、次のとおりです。

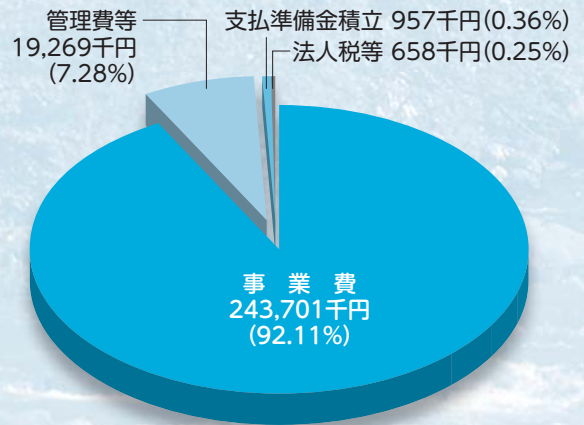
経常収益合計は、受取掛金、

受取負担金及び長期前受収益引当預金取崩収益等の2億9353万7千円、経常費用合計は、事業費(給付金)、管理費等の2億6458万5千円で、当期正味財産増減額2895万2千円を生じた結果、正味財産期末残高2億96万6千円を計上しました。

給付事業会計等(経常収益) 293,537千円



給付事業会計等(経常費用) 264,585千円



平成27年度共済グループ保険給付金給付状況

(単位: 件、円)

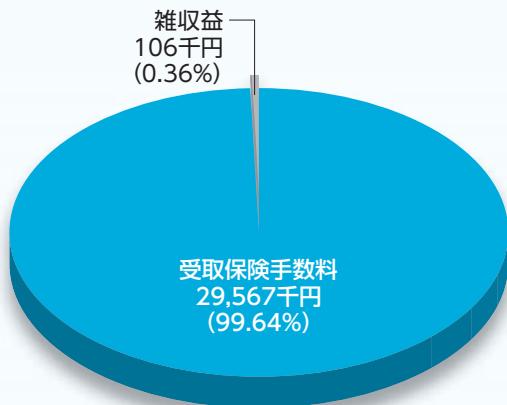
項目 \ 年度	27年度			
	件数	金額		
団体定期保険	本人・配偶者	死亡保険金	19	149,500,000
		高度障害保険金	1	15,000,000
		災害保険金	2	14,000,000
		障害給付金	0	0
		災害入院給付金	38	6,516,600
	計	60	185,016,600	
	子供	死亡保険金	0	0
		高度障害保険金	0	0
		災害保険金	0	0
		障害給付金	0	0
災害入院給付金		5	172,800	
計	5	172,800		
療養給付プラン	74	7,057,867		
医療保障保険	死亡保険金	5	500,000	
	入院給付金	176	12,536,000	
	計	181	13,036,000	
重病克服支援制度	5	11,000,000		
合計	325	216,283,267		

共済グループ保険、がん保険、積立年金を取扱う会計で、手数料収入により運用している収益事業です。
 経常収益合計は、2967

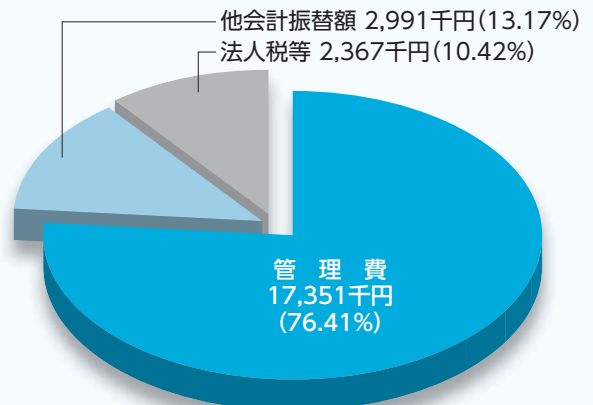
厚生事業会計

万3千円で、経常費用合計は、2270万9千円(公益事業会計への振替額299万1千円を含む。)で、当期正味財産増減額696万4千円を生じた結果、正味財産期末残高6767万4千円を計上しました。

厚生事業会計(経常収益) 29,673千円

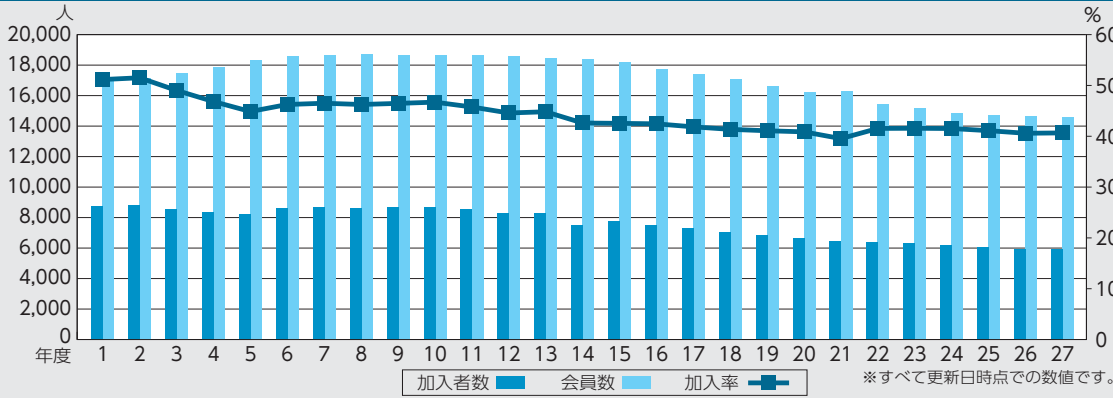


厚生事業会計(経常費用) 22,709千円



共済グループ保険(団体定期保険)加入者数・加入率の推移表(平成元年度～平成27年度)

グループ保険・がん保険について



加入者数・加入率の推移

共済グループ保険(団体定期保険)の加入者数は、平成27年度5千928人であり、加入率は40・7%となっています。

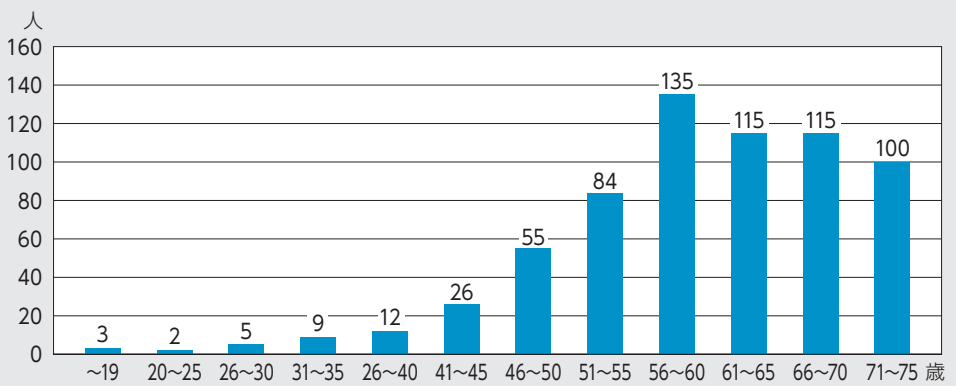
加入者数は、近年微減傾向にあります。加入率は、平成21年度に39・5%になったものの、その後回復し平成22年度以降は40%以上の水準で推移しています。

団体定期保険の運営上において優良基準となる加入率35%は毎年達成しており、適正かつ優良な状態にて運営されております。

年齢別死亡保険金支払件数

共済グループ保険(団体定期保険)死亡保険金の支払いは平成元年度から平成27年度までで661件ありました。年齢別に支払件数を比較すると年齢が上がるにつれて支払件数も増加傾向にあります。特に41歳以降は増加幅が大きくなり、56歳～60歳の年齢群で

共済グループ保険年齢別死亡保険金支払件数(平成元年度～平成27年度:合計661件)

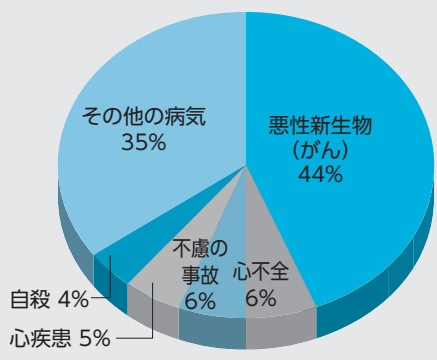


団体定期保険お支払いに関する主な死亡原因

共済グループ保険(団体定期保険)

最も支払件数が多くなっております。また、全年齢群で死亡保険金の支払いが生じており、どの年齢層も死亡のリスクが存在していることが伺えます。

団体定期保険お支払いに関する主な死亡原因(直近10年間)



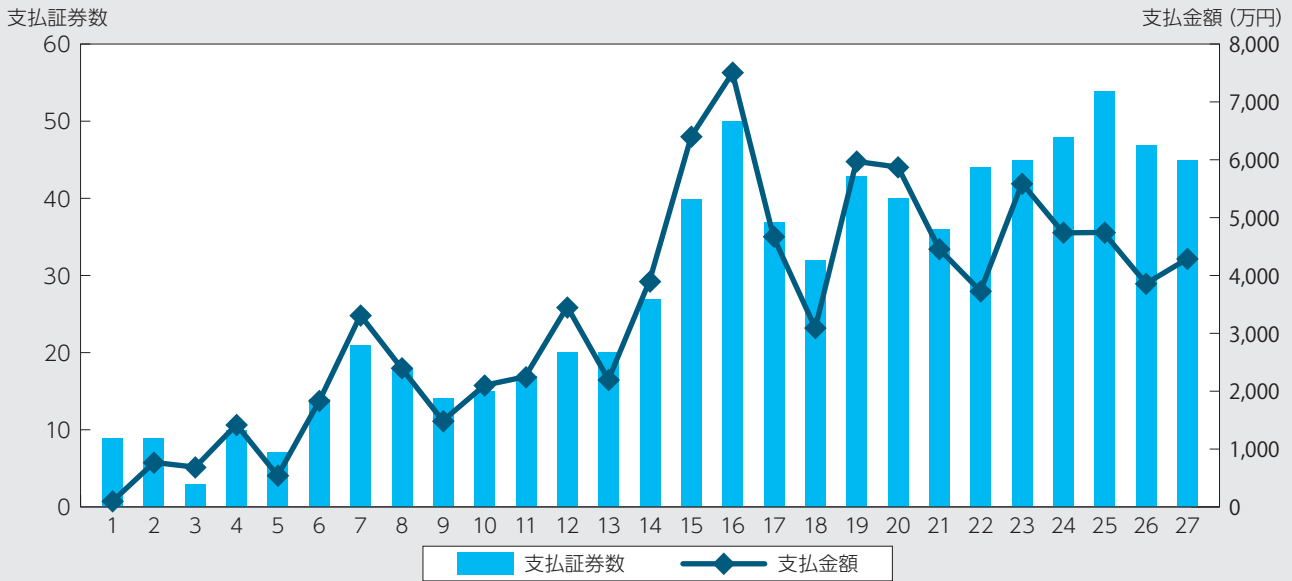
の平成27年度死亡保険金支払件数は、22件(特約分除く)ありました。支払総額は2億300万円(特約分除く)でした。

直近10年間のお支払いの主な死亡原因(平成18年1月1日～平成28年1月1日更新時点までの着金完了分、本人・配偶者は、悪性新生物(がん)、心不全、不慮の事故、心疾患、自殺の順に多く、特に悪性新生物(がん)については、全体の44%を占めています。

支払件数162件(引受会社の処理完了分)のうち死亡原因一位の悪性新生物(がん)については72件のお支払いとなっており、年平均約7名の水準で死亡保険金のお支払いが生じています。

近年、がんは治る病と言われていました。 「生きるためのがん保険」を提供します。

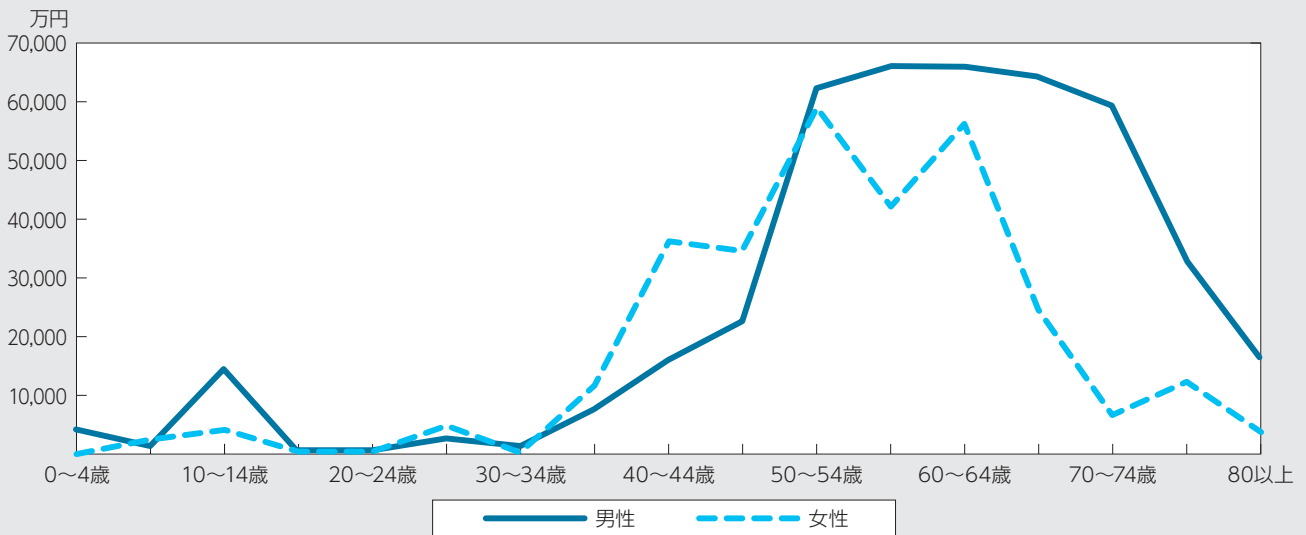
平成元年から平成27年までのがん保険給付実績



給付実績は平成16年以降、増減を繰り返しております。直近平成27年のがん保険給付は、給付金支払証券数45件、支払金額4,309万円となっており、1証券あたり平均支払金額は95.7万円、給付率1.98%という状況でした。

*がん保険有効件数：2,263件(平成28年4月時点)

年齢別「入院給付金、死亡保険金」合算支払金額



小児がん(15歳以下の子どもに起こるがん)は、支払金額は少ないですが、1,604万円あり、がん保険事業はすべての年齢にお役に立っていることがうかがえます。

男性は、30歳代から支払金額が上昇し、50歳代以降は更に急激に支払金額が上昇しています。女性は、男性同様、30歳代から支払金額が上昇しますが、男性よりも支払金額が急上昇しています。女性における部位別支払入院給付金は、「乳房」が一番多い(26%)ことから、女性は女性特有のがんリスクがあるため、30歳代以降の支払金額が多いと考えられます。

がん保険の引受保険会社：アメリカンファミリー生命保険会社
募集代理店：南海放送サービス(株)



「がん」を考える。 それは、ご家族を想うこと。

あなたが、もし「がん」になった時、誰を頼りにしますか？いちばん頼れるのは、いつもそばで支えてくれるご家族です。しかし治療中は、経済的・精神的に、大きな負担をかけてしまう現実も…。大切なご家族のために、もう少し「がん」について考えてみませんか？

新 生きるための
がん保険 Days

新 生きるための
がん保険 Days+

NEW/
がんを経験された方へ

生きるための
がん保険

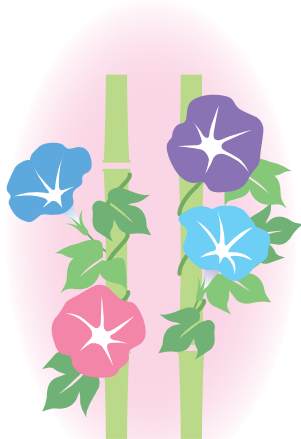
寄りそうDays

●募集代理店
南海放送サービス(株)
〒790-0811
松山市本町1丁目2番3号
フリーダイヤル 0120-11-1136

●引受保険会社
アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社)
松山支店
〒790-0003
松山市三番町4丁目9番地6
NBF 松山日銀前ビル5F

アフラックコールセンター
0120-5555-95

平日 9:00 ~ 18:00



お知らせ

共済グループ保険募集のご案内

共済グループ保険の募集を左表の日程のとおり実施いたします。

募集に際しましては、募集担当保険会社の職員が皆さんの職場に順次お伺いして、説明いたしますので、是非、この機会に加入増額のご検討をいただきますようお願いいたします。

締切日	募集期間	区分
九月十二日	七月下旬～九月上旬	共済グループ保険

互助会の概況

(平成28年度4月末現在)

・所属所数	42
・会員数	現職会員数 14,900人 退職会員数 3,613人
・被扶養者数	16,585人
・平均給料月額	313,757円

表紙によせて

どろんこ祭り(西予市)

西予市城川町土居(三島神社)にて明治14年頃からお田植え祭りとして行われている「どろんこ祭り」は、「奥伊予の奇祭」・「御田植祭り(おんだまつり)」とも呼ばれています。牛による勇壮な「代かき」で始まり、若者たちが繰り広げるユニークな「畦豆植え」、大番(だいばん)が登場する神楽「さんばい降り」、着飾った少女による「早乙女の手踊り」、「お田植え」の順で進行します。

田植えが終わった喜びを神に感謝し、五穀豊穡・無病息災を祈る素朴でユーモラスな、また、ハプニング・動きのある田休み行事です。毎年7月第1日曜日。